

原作 二宮修子

暮春之初會於會稽山陰之蘭亭
修禊事也群賢畢至少長咸集此
地有崇山峻嶺茂林修竹又有清
流激湍映帶左右引以為流觴曲
水列坐其間雖無絲竹管絃之盛
一觴一詠亦足以暢敘幽情是日

壯烈無土国血戰記 上卷

脚色、画 釣田邦子

プロローグ

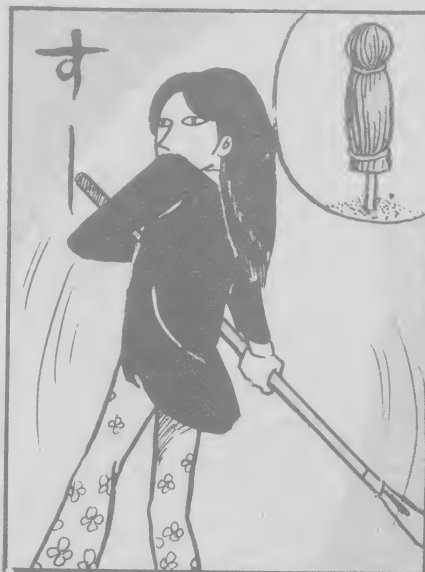
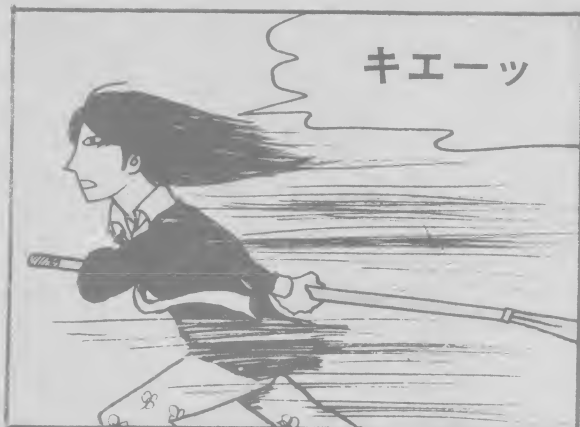






陽漢様
支那茶が
入りました







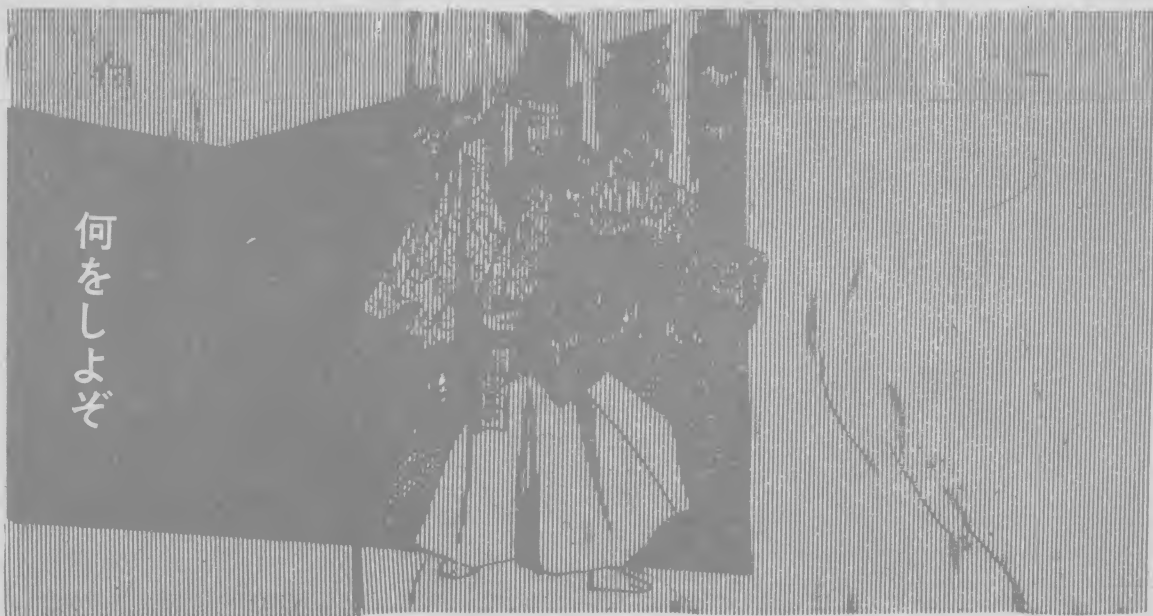
死のうは一定



忍ぶ草には

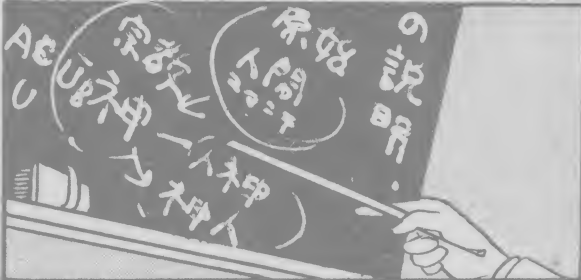


何をしよぞ

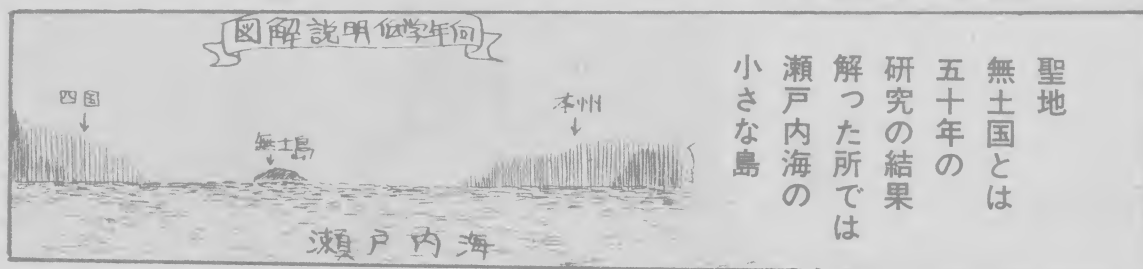




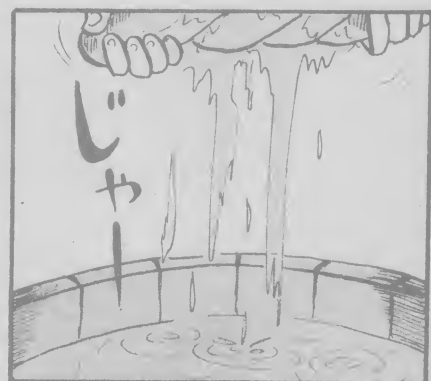
本文







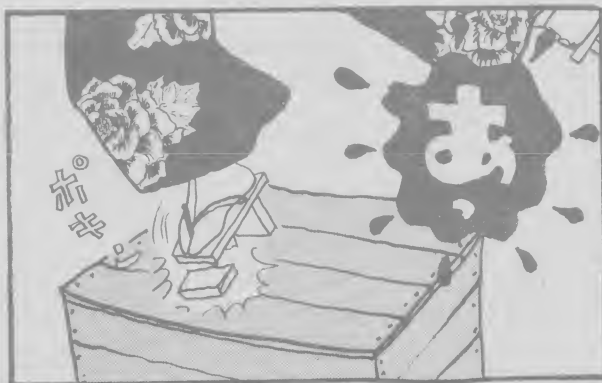


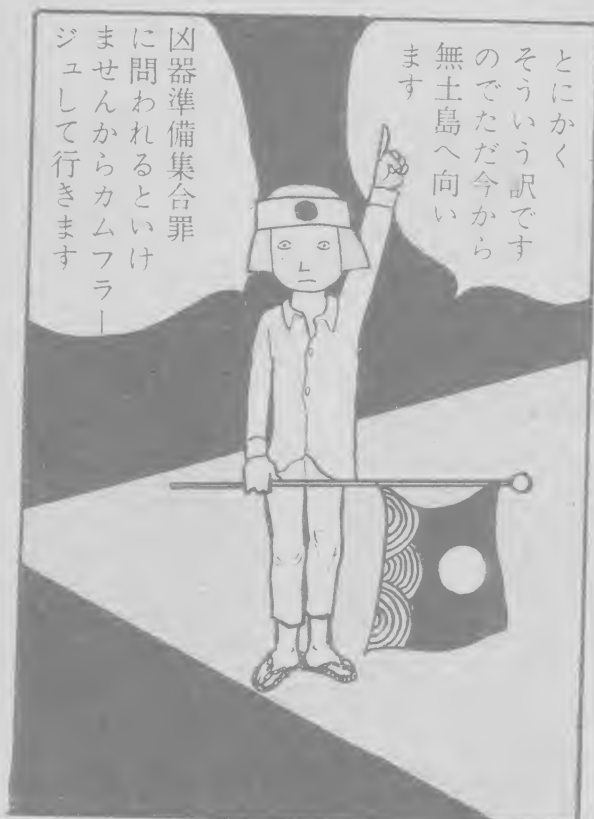
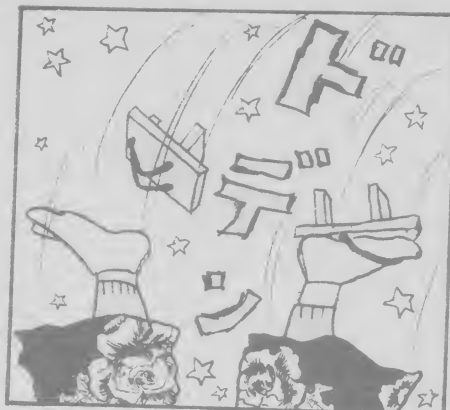




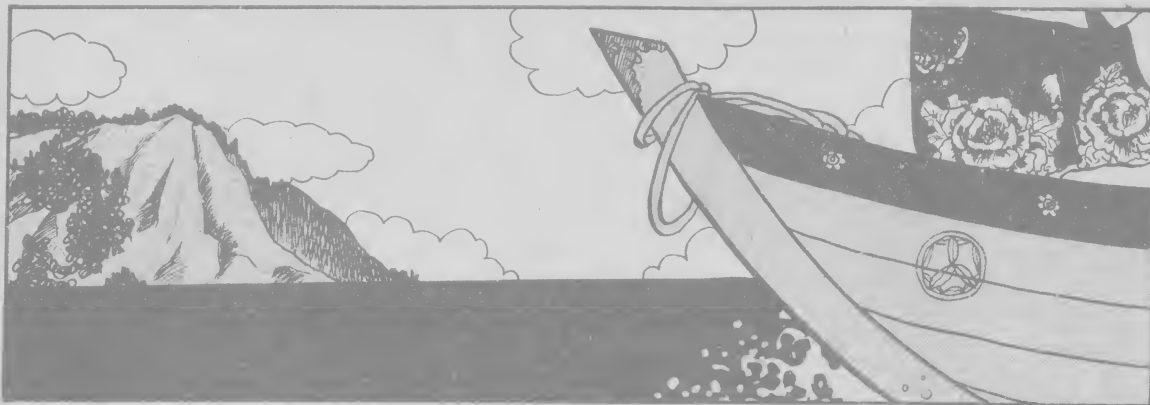
聖無土國角建設
非願

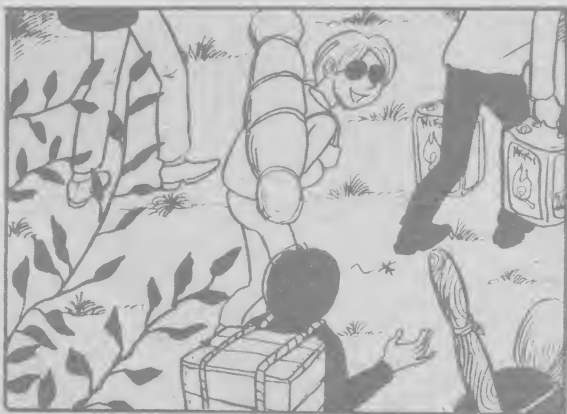
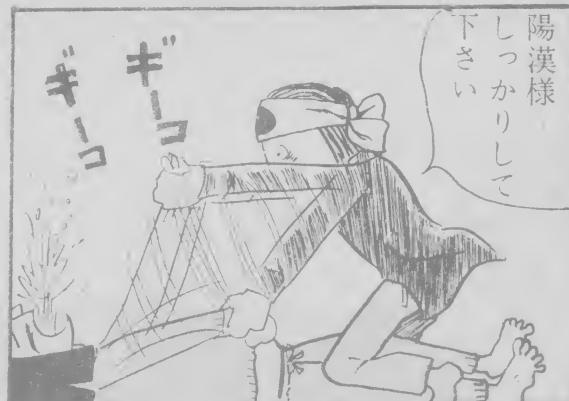


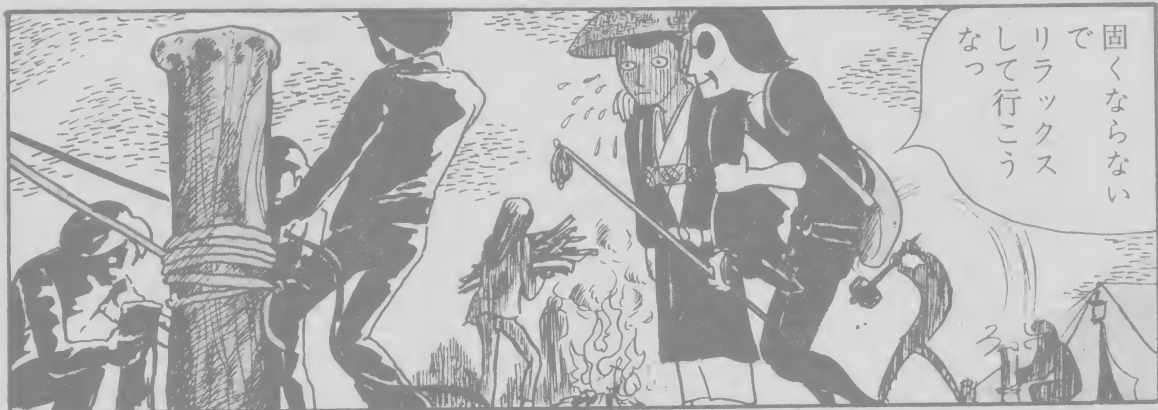




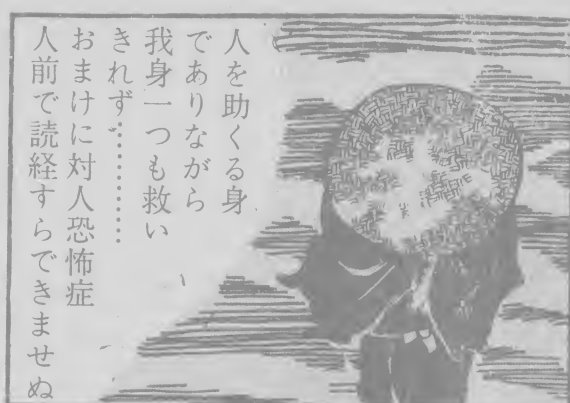














1969 3/22

かくて血戦の時ぞ来る